

大分市医師会立アルメイダ病院

救急科後期研修プログラム

(3年専従型)

大分市医師会立アルメイダ病院 研修管理委員会

初版 平成23年4月1日

改訂 平成26年1月1日

I. 研修プログラムの名称

大分市医師会立アルメイダ病院 救急科後期研修プログラム

II. プログラムの概要

原則として卒後3年目以降の研修医を対象として、救命救急センター（救急科）に3年間専従し、救急科専門医の養成を行うための後期研修プログラムである。

多岐にわたる救急疾患を経験し、幅広い患者への初期対応、外科的処置、集中治療について習得する。最終的には救急科専門医取得に必要な症例を経験する。

また、院内診療に止まらず、プレホスピタルケアや災害医療、救急システムなども研修や実務経験を通して理解する。

III. 教育到達目標

救急科で遭遇する疾病、外傷等の生命の危機にある病態に対する初期対応および診断能力を修得し、重症患者の集中治療を行うことができる救急科専門医となる。

(1) 一般目標

- 1) 生命や機能的予後に関わる緊急を要する病態や疾病・外傷に対して、初療医として適切な初期診断・初期治療を行うことができる。
- 2) 集中治療の基本を理解し、実践できる。
- 3) 災害医療の基本や救急医療システムを理解し、実践参加できる。
- 4) 蘇生や外傷などの標準化コース（ICLS、JATEC など）に参加し、指導ができる。

(2) 行動目標

- 1) 救急科専門医取得に必要な手技・処置・症例を経験し、必要な知識を習得する。
- 2) 患者・家族と良好な人間関係を確立するために、患者の社会的背景を理解し適切な対応ができ、患者・家族が納得できるインフォームド・コンセントが実施できる。
- 3) 医療チームの構成員としての役割を理解し、医師を含めた他の医療従事者と適切なコミュニケーションがとれ、後輩への教育的配慮ができる。
- 4) 患者および医療従事者にとっての安全な医療行為を遂行し、安全管理や危機管理の方策を身に付ける。

IV. 研修施設

- (1) 大分市医師会立アルメイダ病院 救命救急センター 救急科
(救急外来およびICUを含む救急病棟において研修を行う)

- ・日本救急医学会 救急科専門医指定施設 認定番号 第0083号
- ・日本集中治療医学会 専門医研修施設 認定番号 第342号

研修プログラム責任者名：稲垣 伸 洋（救急科指導医・専門医）

V. 研修プログラム

《1年目》

- (1) 研修到達目標
救急医療制度を把握し、病院内での役割を理解し、救急科専門医診療実績表に基づいた救急病態や手技を経験しながら、救急医としての基礎を確立する。
- (2) 指導体制
救急科指導医、専門医により、個々の症例、あるいは手技につき指導や助言を受ける。日々のカンファレンスで、受け持ち患者以外の症例に関しても討論を行い、医学的・社会的な諸問題に関する経験や考察を深める。
- (3) 研修内容
救急科指導医、専門医、あるいは上級医の管理下で患者の初期対応および入院加療を担当する。
基本的な臨床マナー、自律的な学習習慣を身につけ、初期研修医の模範となる。

《2年目》

- (1) 研修到達目標
救急医としての知識・経験と技術を向上させ、更に初期研修医、救急救命士に対して指導ができる。
- (2) 指導体制
救急科指導医、専門医により、個々の症例あるいは手技につき指導や助言を受ける。日々のカンファレンスで、受け持ち患者以外の症例に関しても討論を行い、医学的・社会的な諸問題に関する経験や考察を深める。
- (3) 研修内容
一人で、あるいは研修医とペアで患者を担当する。救急部門の日々の運営にも主体的に関わり、判断力や決断力、実行力を養う。カンファレンスの司会、救急患者受け入れやベッドコントロール、スタッフの割り当てなどを担当する。ドクターカーで病院前救護を実践し、救急救命士の指導にあたる。

《3年目》

- (1) 研修到達目標
救急受け入れの指揮および救命救急センター全体のマネジメントができ、さらに、地域医療や行政における救急医の立場を理解する。自身の将来構想のもとに、研修や研究のプランを立てる。
- (2) 指導体制
救急科指導医、専門医により、必要な場合、あるいは本人が求めた場合に、指導や助言をうける。
- (3) 研修内容
重症外傷、中毒、熱傷、敗血症、蘇生などの重症疾患・病態の初期診療のリーダーとして診療を担当する。上級救急医および各診療科の専門医はアドバイザーとして参画するが、3年間の研修の集大成としてリーダーを務める。地域のMC（メディカルコントロール）体制を把握し、救急救命士への間接的MCを実践する。

《3年間を通じて》

- (1) 各種教育コース（ICLS、JATEC など）を積極的に受講し、インストラクター資格の獲得も目指す。
救急に関連する全国規模の学会で年1回以上の発表、地方会でも年1回以上の発表を行う。その1年間で日本語の論文1編を作成することを目標とする。
- (2) 研修期間中に経験できる症例
多発外傷、中毒、重症敗血症（集中治療が必要な症例）、呼吸不全（人工呼吸器が必要な症例）、循環不全、多臓器不全、環境障害（熱中症、低体温症）などの生命に危機がある重症例の集中治療。一般の救急患者の診療（入院診療も含む）。各種救急疾患（消化管出血、急性冠症候群、脳卒中、熱傷など）の初療（診断して専門の診療科に引き継ぎ）。

VI. 専攻医の募集定員並びに募集および採用の方法

- (1) 募集定員 2名／年
- (2) 募集方法 公募
- (3) 応募必要書類 履歴書、医師免許証、臨床研修終了証
- (4) 選考方法 面接
- (5) 問合せ・申込先 〒870-1195 大分県大分市大字宮崎1509-2
大分市医師会立アルメイダ病院
総務課 あんどう まさよし 安東 雅由（事務担当者）
TEL 097-569-3121 FAX 097-568-0743
E-mail ma_andou@almeida.oita.med.or.jp
URL <http://www.almeida-hospital.com/>

初版 平成23年4月1日

改訂 平成26年1月1日